

## 民俗芸能の交流発表会に5団体出演 地域の小中学生の存在大きく

鶴岡市の民俗芸能交流発表会が4日(土)、荘銀タクト鶴岡で開催されました。

令和元年に始まり、今回で4回目となる発表会に、各地域から5団体が出演しました。主催者を代表して、布川敦教育長があいさつを行いました。

布川氏は、本市の民俗芸能保存継承事業に對して、企業版ふるさと納税制度により、神奈川県相模原市の(株)ホンマ電気から多額の寄付をいただいたこと、会長の本間俊三(としぞう)氏は、温海地域出身とのことが紹介されました。

出演団体は、役者の士気を下げないためにも、こういった機会を



山王様の獅子舞



大山いざやまき、小中高生が出演



渡前小学校25代目子ども獅子踊り



あつみだけくまの 温海嶽熊野神社獅子舞



湯田川温泉神楽、客席に降りて大歓声

## 村の四季

33

鈴木重雄(八色木)

私の8月15日

私は前にも述べたが、小学校から改称された八栄島国民学校の第1回卒業である。

卒業すると隣村の豊栄の日向政治様(ムラではさまと呼んでいた)に若勢として働いた。

日向家は素封家で、農業団体はじめ村会議長などの要職を務められた。

私は農作業は勿論、鶴岡や酒田に小間使いが多かった。おかげで言葉使いや礼儀作法、農業の勉強も出来て、ありがたかったと今でも思っている。

1945(昭和20)年8月15日は、いつもの日課で馬草を刈り、朝食を終えると盆休みである。何もすることがないの、日向家の本を借り、台所に続く休み部屋で、1時間くらい寝そべて本を読み、家に帰った。

日向家には、名曲のレコードと、世界文学全集や明治文学全集などを揃えた「日向文庫」があり、自由に貸してくれた。

この年の夏は炎天続きであったが、この日は特に暑かった。午後から友達と隣村に相撲大会を見に行くことになったので、正午前に日向家に行った。

主人経治さんは午前中、田んぼの見回りをしながら稗取りをされたようである。

食卓につくと、沈んだ面持ちで「これから重大放送がある」と言う。皆シーンとしている。

正午の時報と共に、「朕(ちん) 深ク世界ノ大勢ト帝國ノ現状トニ鑑ミ・・・」に始まる、天皇の玉音放送であった。

ラジオに雑音が入り聴き取りにくかったが、無条件降伏であった。経治さんは、食事も

そこそこに、悲痛な面持ちで茶の間に引き上げていった。これからの時代が大きく変わるのを感じ取ったのであろう。

私は友だちと約束があったので、北の方に向かって真つすぐ長沼十文字に向かった。農道には畦畔草がいつぱいに干されていた。太陽熱の蒸し返しでいつそう暑さを感じた。

相撲大会は中止であった。神社ではご祈禱を終え、直会であったが、シーンとしてお祭り気分ではなかった。私たちはなんとなく気恥ずかしい寂寥感に襲われたような気持ちで帰った。

利用し、民俗芸能を次世代に確実につなげるという強い思いで、出演を希望された、と述べました。

伝統芸能の存続は、地域の小中学生の存在が大きく、地域の学校をしっかりと守っていくことが大切です。

# 保育士の配置基準の改善を一刻も早く 70年以上も変わっていない

国が定める保育士の配置基準が、国会で取り上げられました。

現在の配置基準は、

- 0歳児が3対1人、
- 1、2歳児は6対1、
- 3歳児は20対1、
- 4、5歳児は30対1、

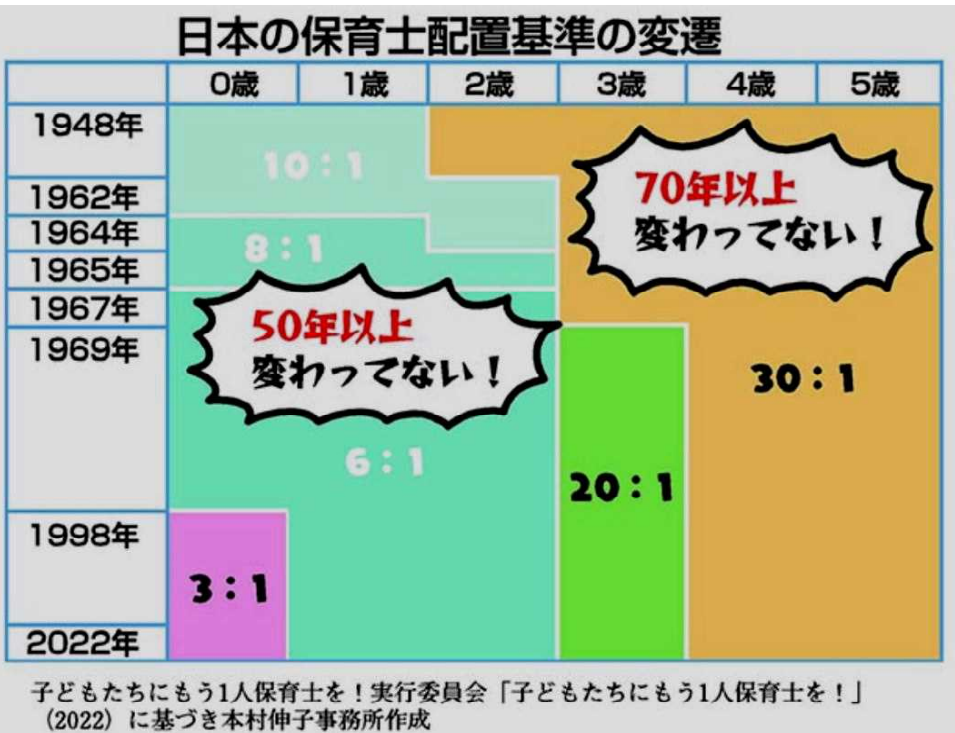
定められたのは、1、2歳児が56年前で、4、5歳児は75年も前です(図参照)。

日本共産党の本村伸子議員が3日の衆院予算委員会で、岸田政権の保育政策を追及し、

「軍事費は2倍にもかかわらず、国際的に遅れている保育士の配置基準の改善は後回し。こういう政治を変えるべきだ」と保育士配置基準の一刻も早い改善を迫りました。

本村氏は、今の実態にあわない配置基準であり、3、4、5歳児では、経済協力開発機構(OECD)の調査国・地域で最低だと指摘。子育て施策に「異次元」とつける岸田政権に対し「異次元というが、低次元すぎる」とただしました。

加藤勝信厚生労働相は「単純には比較できない」としつつ「他国と比べた配置基準が十分でないという指摘は十分受け止めなければいけない」と述べました。



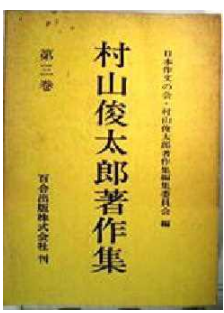
## ひと 村山俊太郎・ひで夫妻 青山 崇

俊太郎論文 県教員労働組合の過去と現在①

戦前の民主的な山形県教育労働者組合結成と、その後の展開の中心であった俊太郎は、1948年(昭和23)

に、論文『山形県教育労働組合について―本県民主教育運動小史』(1948年)を発表し、世界の教員組合連

動をも視野に入れ、戦前の日本教員労働組合運動の概略を述べている。



長文なので要約を記したいと思う。

国際的民主主義の力でもたらされた自由の

国主義が要請する教育体制の進行に対する闘争史である。

東京大震災(1923年)による恐慌から、1929年から30年代の世界恐慌で、独占資本は産業合理化による大量首切り・賃下げ・工場閉鎖などを強行し、また1931年満州事変を起こし、中国侵略を始めた。

教育界も1万5千の失業教員を出し、町村財政の窮乏から、教員の首切り・月給の減額や支払い延期、さらに長期停止・学校・学級



### 年金削って大軍拡

先日、税金の申告用紙が届いたが、これが届いたある人から、今年も申告頼むで・と、TELがあったので手伝わしてもらった。

▲そこでは当然、去年の控えも見るわけだが、年金の収入金額で今年が6千円不足だった。社会保険料はと見れば、こっちは逆に7千円増えていたんだ。往復で年間1万3千円減っていたんだっけ。

▲じゃという事で帰って自分の物を見れば、収入金額で8千円不足で、社会保険料は2万900円増えていたんだ。合わせて3万円程減っていた事になる。皆さんのところでも同じような格好・・・。

▲社会保険である介護保険料や後期高齢者保険料は、あなたの今年はこうなります・と、通知が来ますが、どう

の統合などで、教員は飢餓線上に追い込まれた。

そして、一方では聖戦賛美、従順主義を注ぎ込まれ、組織による教育闘争から遠のかされていった。

特に東北地帯では、以上のような軍国主義教育のもとにあるとともに、凶作などもあって、村人は人間以下の生活を強いられ、「欠食児童」も現れた。さらに天皇制・軍国主義教育が進められ、兵士となった。

せ年金から差し引くんだからと、金額を「おつきいもんだの」と見ていたのではないのでしょうか。こんな形・つまり収入が減って負担が増える・という形は、益々となると思う。大軍拡の為にサ。

▲許せません。諦めてはだめです。諦めたら「欲しがりません・勝つまでは」なんて、あの時代と同じ窮乏生活になりますヨ。国民の声を聴かないで・つまり国会にかけないでバイデンに説明した大軍拡を、国民の力で潰す事です。戦争反対の声を大きくすることです。▲防衛3文書は、日本に攻撃が無くても米国に攻撃があれば、日本からトマホーク等を、敵基地と思う所にぶち込むというもの。首相が言う・国民の安全を守るどころか、戦争へ飛び込むものなのです。そんな事は絶対許してはなりません。(石川)